Press Release

2014年9月30日発

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話:022-264-6423／E-Mail:koho@tohoku-gakuin.ac.jp

報道関係者各位

東北学院大学土樋キャンパス 北地区新校舎(仮称)新築工事 起　工　式

取材のお願い

記

日　時：平成２６年１０月６日（月）１３時

場　所：東北学院大学土樋キャンパス北地区新校舎（仮称）新築予定地　仙台市青葉区片平二丁目１番１１号

【本件に関するお問い合わせ】
学校法人東北学院 法人事務局
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
広報部広報課
電話:022－264－6423 ／ E-Mail:koho@tohoku-gakuin.ac.jp
庶務部庶務課
電話:022－264－6464

東北学院大学土樋キャンパス北地区新校舎（仮称）新築工事起工式

次　第

日　時　：　平成26年10月6日(月)13時
場　所　：　東北学院大学土樋キャンパス北地区新校舎(仮称)新築予定地
司　式　：　法人事務局庶務部長　　八　島　康　治

讃 美 歌	291　番		一　　　同
聖 書 朗 読	旧約聖書	詩編　第127編1節	
	新約聖書	コリントの信徒への手紙一　第3章10～17節	
		宗教部長　佐々木　哲　夫	
祈　　　禱		同　　　上	
式　　　辞		理 事 長	松　本　宣　郎
工事概要説明		施設部長	木　村　安　博
鍬　入　れ			
	(施　工　主)	理 事 長	松　本　宣　郎
	(設計監理者)株式会社三菱地所設計		
		取締役社長	大　内　政　男　殿
	(施　工　者)株式会社大林組		
		執行役員東北支店長	高　槻　幹　雄　殿
頌　　　栄	541　番		一　　　同
祝　　　禱		宗教部長　佐々木　哲　夫	

以上

【本件に関するお問い合わせ】
学校法人東北学院　法人事務局
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
広報部広報課
電話：022－264－6423　／　E-Mail：koho@tohoku-gakuin.ac.jp
庶務部庶務課
電話：022－264－6464

工 事 概 要

1.　工事名称　　東北学院大学土樋キャンパス北地区新校舎(仮称)新築工事

2.　工事場所　　仙台市青葉区片平二丁目1番11号

3.　工　 期　　着工　平成26年10月 6日
　　　　　　　竣工　平成28年　3月15日

4.　工事概要

① 建築面積　　2, 884. 58㎡

② 延べ面積　12, 560. 51㎡

③ 階　 数　　地下1階、地上5階

④ 構　 造　　地下：鉄筋コンクリート造、地上：鉄骨造

⑤ 高　 さ　　最高高さ 20. 50m

⑥ 主 要 室

地下　1階　音楽室、多目的ホール
地上　1階　職員事務室（広報課、入試課、就職キャリア支援課、）
　　　　　　ラーニングコモンズ、食堂（カフェ）
　　　2階　大講義室1室、小講義室2室、ラーニングコモンズ
　　　　　　職員事務室（国際交流課）
　　　3階　中講義室2室、小講義室2室、演習室6室、考古学実習室
　　　4階　研究室37室
　　　5階　研究室38室（4階 + 5階　合計75室）

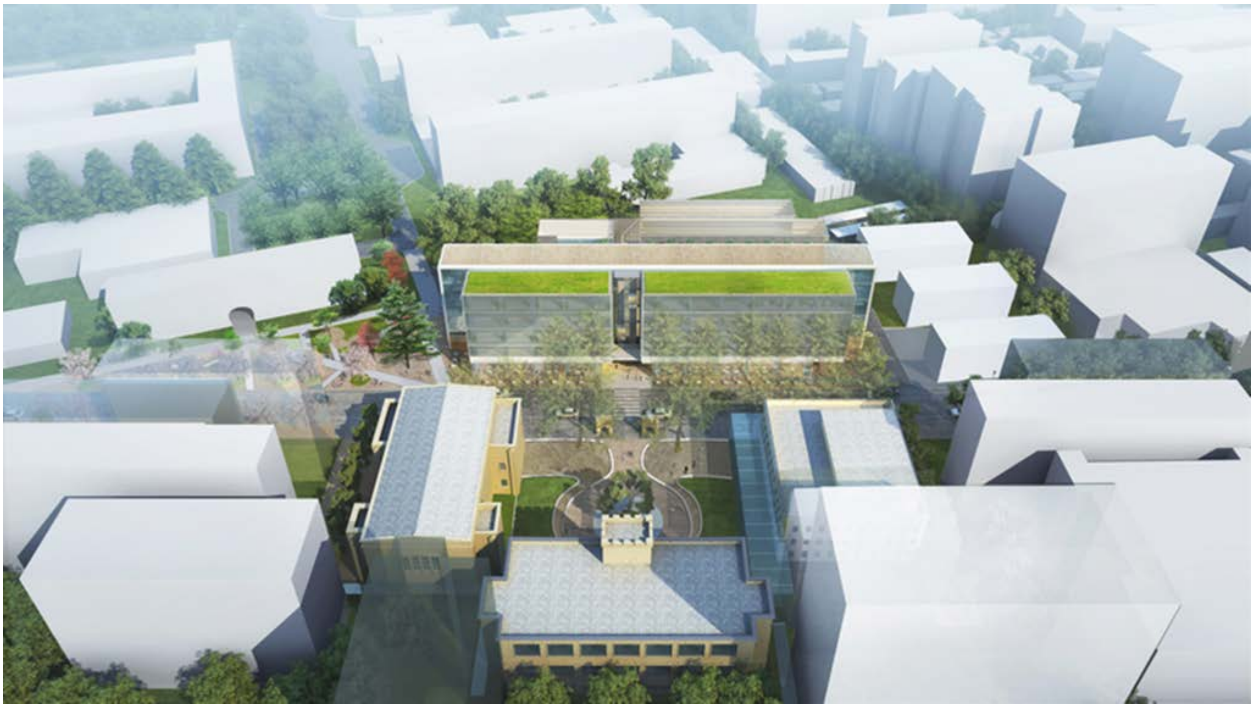
5.　設 計 者　　株式会社　三菱地所設計

6.　施 工 者　　株式会社　大林組東北支店

【本件に関するお問い合わせ】
学校法人東北学院　法人事務局
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
広報部広報課
電話：022－264－6423　／　E-Mail：koho@tohoku-gakuin.ac.jp
庶務部庶務課
電話：022－264－6464　／　E-Mail：koho@tohoku-gakuin.ac.jp

【参考_1】

＜完成予想図＞



【参考＿２】

＜東北学院大学土樋キャンパス整備計画　５つのテーマ＞

1. 学都仙台を象徴するキャンパス
－キャンパスタウンの実現と北地区新校舎－

土樋キャンパスはグリーンキャンパスづくりに努め、TGU モール沿いの自主的な景観マニュアルを作成、そのマニュアルに沿って長期計画を行っていきます。具体的には石畳の並木整備、キャンパスとモールをライトアップする照明設備、そのモールを軸とした正門前整備と本計画を一体的にデザインすることで、キャンパス街をつないでいきます。これにより、本計画はラーニング・コモンズと一体となった画期的な校舎として、次世代型の教育空間をアピールしていきます。

2. 地域と共創するキャンパス
－3つの共創空間－

キャンパスの地上階1階フロアには食堂（カフェ）、地階には多目的ホールを設置、新棟西側のエリアには三角形の憩いの場を整備し、地域の皆さまも気軽に利用できる3つの共創空間を創出します。フェンスを撤廃し、南北のキャンパスを自由に通り抜け、アカデミックな空間を感じることができる、地域に向け門戸を開いた空間づくりを進めます。

3. 新旧一体のキャンパス
－3つの既存施設を尊重した新校舎－
本館を中心に、ラーハウザー記念東北学院礼拝堂、大学院棟(旧シュネーダー記念図書館)の3つの保存建築と本計画とで囲まれた、新旧一体となった広場TGスクエアを形成し、キャンパスの核となるTGUモールと一体となった新校舎を建設。本館塔楼のスカイラインを尊重し、周辺建物と同じ高さの景観を守ります。

4. 市民に開かれたキャンパス
－TGU モールに沿って賑わいのある施設を配置－
新棟北キャンパスの西側に整備される三角形の憩いの場には小さな円形テラスを設置し、交流の場としても使える参画型テラス（Sankaku Terrace）として活用します。また、賑わいを外部に発信できるように、建物1階のTGU モール沿いすべてをガラス張りにし、食堂（カフェ）、ラーニング・コモンズなどを配置して、学内利用を原則としてユニバーサルに対応した開放的なスペースを確保します。同時に低層階にはオフィスゾーンを集約し、学外交流にもノンストップサービスを進め、地域と市民に開かれたゾーンを創出します。

5. 環境・防犯・防災に対応するキャンパス
－死角をなくす配置と防災拠点への対応－
周辺環境と一体となった機能美あるボリューム感を演出。また、建物内に死角をなくし見通しの良い空間計画を実現することで、より安全安心なキャンパスを創出します。自然災害の際には、地域の避難施設として機能することも視野に入れています。